

第2編

南相馬市が目指す教育の姿

「自ら学び、自ら考え挑戦し、生きぬく力を育むまち南相馬」

～それぞれの力を認め合い、響き合いながら
未来を拓く人材の育成～

平成27年度に策定した現在の市教育振興基本計画（以下、「前計画」という。）では、「自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり」 復興を超えて、新しい南相馬へ ～自らの力で社会を創造する人材の育成～ を基本理念に掲げ、震災による逆境を飛躍への好機と捉える強い精神力を持ち、自らの力で未来を切り拓いて新しい南相馬市を創造することができる人材の育成を目指してきました。

この間、相次ぐ大規模な自然災害の発生、近年発生した新型コロナウイルス感染症拡大や不安定な国際状況など、現代はますます将来の予測が困難な時代となっており、不透明な将来に向かって厳しい時代を乗り越えていく上で必要となる資質や能力の育成を目指す必要があります。

以上のことから、南相馬市第三次教育振興基本計画においては、前計画で目指してきた基本要素である「知・徳・体」の育成に加え、何事にも積極的にチャレンジする強い「心」や今後を生き抜く上で必要な「主体性」「コミュニケーション能力」「情報活用能力」「課題解決能力」などの資質・能力を兼ね備えた人材の育成を目指します。

2 基本目標

基本理念の実現に向けて、前計画の取組における課題や教育を取り巻く現状を踏まえ、今後の基本目標を次の通り定めます。

教育分野

基本目標1 こどもの未来を切り拓く力を高めるとともに、無限の可能性にチャレンジする積極性を育みます

- 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代を生き抜き、豊かな人生を切り拓くための基礎となる「知・徳・体」をバランスよく育みます。
- 基礎学力の定着や活用力の向上、学習意欲の向上を図るとともに、誰一人取り残さない教育環境の整備のため、児童生徒一人一人の状況に応じた教育を行います。

生涯学習分野

基本目標2 生涯にわたり、誰もが学びたいことを学び続けられるまちを目指します

- 年齢を問わず学び続け、学びを通じて人生を豊かにし、生きがいをもって地域や社会に参画する意欲を持つことを目指し、生涯学習の充実に取り組みます。
- 誰もが身近に芸術文化を鑑賞したり、体験したりすることにより、心豊かな人生を送ることができるよう、芸術文化活動を推進します。

文化分野

基本目標3 地域の歴史や文化への理解、郷土への愛着と誇りを育みます

- 地域の歴史文化遺産を適切に保存するとともに、積極的に活用することを通じて、市民の郷土への愛着と誇りを育みます。
- 地域の誇りである相馬野馬追・民俗芸能等を絶やすことなく後世に継承するため、地域と市が一体となり、保存伝承に取り組みます。

3 基本目標達成に向けた基本姿勢

基本目標を達成するため、今後8年間において施策を展開するにあたっては次の基本姿勢で臨みます。そのためには、学校・地域・家庭がこどもの教育や生涯学習においてそれぞれの役割を認識し、市全体で取り組むことが必要なことから、協力を求めながら計画を推進します。

| 先人の思いをつなぐ | 地域とよりそう | 可能性にいとむ |
|---|--|--|
| 地域の様々な人、歴史や文化、自然や産業など先人が築きあげてきたものから幅広く学びます。 | 社会の創り手となるためには、まず自分が暮らす地域をよく知ることが大切です。地域の様々な人との交流、協働による実践を通して学びを深めます。 | だれでも無限の可能性を持っています。主体的に、必要なときは仲間とともに協働して挑戦します。また、失敗も次につながる一つの成果と前向きに捉えます。 |